

## SSH通信

～第三期 新しい挑戦を楽しもう！～

No.2 発行 2023.8.23

## 三高探究の日 2023.5.16 (火)

5月16日(火)、本校で「三高探究の日」を開催しました。国内外で受賞・入選を果たした自然科学部各班の英語による研究発表に始まり、3年生70班によるポスター発表、2年生80班による3min.発表があり、生徒たちは日頃の探究活動の成果を披露しました。また、午後にはSDGsの活動を積極推進している韓国のチョンリョル女子高校と、本校理数科の課題研究生物班による英語での発表交流をオンラインで実施し、互いの調査・研究内容に対して活発な質疑応答を行いながら国際交流をすることができました。開催当日は、SSH運営指導員や企業の方々、県内外の大学や高校の先生方、国外からも多くの方々にご参観いただき、生徒たちは今後の研究につながる貴重な助言や示唆を得ることができました。



## 海外交流の経験を経て (3年理数科)



今回、私たち生物2班は59回生課題研究発表班を代表してオンラインで韓国のチョンリョル女子高校の方々と交流を行いました。大講義室で行われた英語セッションでは大学教授の方々をはじめ、立ち見が出る程のオーディエンスの数に圧倒され不安な気持ちでしたが、これまでのGLC(東北大学の理系を中心とする留学生)とのセッションや台湾の学生との発表交流など、様々な経験を生かし、円滑に発表を進行することができました。3学年になり、研究に区切りがつけましたが、今日の貴重な機会を今後に生かしていきたいです。

(3年理数科 三浦 航)

## 探究の日を振り返って (3年普通科)

探究の日では、外部の方々や他校の生徒さんを交え、各々の探究について発表しました。私たちの班は学習支援のための絵本を制作しており、探究の日に発表しようと決めていました。しかし、どんな評価を貰えるか分からず、最後の発表機会ということもあり不安でした。ですが、準備をする中でこの2年間を振り返った時、不思議と自信が湧いてきたのを覚えています。探究を通じて学び、経験してきたものや、自分たちで考え、話し合った記憶が力となり、当日は堂々と発表し、アドバイスや嬉しい感想をたくさん頂くことができ、実りある一日となりました。この記憶も、きっと未来の私に力を与えてくれると思います。

(3年普通科 下山 陽詠)



## 探究心が芽生えた日 (1年普通科)



三年生の先輩方の晴れ舞台になった「三高探究の日」。この日は三高生のみならず、他校からの発表者や大学の先生方など多くの方々も見学にいらっしやいました。各班ごとに得た探究の成果をパネルやスライドにまとめ上げており、SDGsや環境問題以外にも三高周辺の地域構成や土地利用についても探究している所もあったため非常に興味深かったです。また、英語を介した海外交流の様子も見学させて頂きました。双方の発表者が流暢に英語で話す姿を見て、自分もいつか先輩方のように英語でセッションを行えたらいいなと思いました。今思えばこれまで「探究」について漠然としたイメージを持つことしかできませんでしたが、この日を通して自分のこれから行う「探究」のイメージを広げることができたと思いました。

(1年普通科 赤間 愛)

## 東北大学工学部研修 (2023.5.18)

5月18日(木)、東北大学工学部のご協力をいただき、1学年を対象とした訪問研修を実施しました。研修班ごとに訪問予定の研究室の概要を授業内で調べ、質問など学びたい内容をまとめた後、研修班ごとに複数の学科を訪問し、研究室での取り組みを見学し、大学院生・教授の方々の研究分野等についてお話を伺うことができました。高い水準で整備されたキャンパスのもと、生徒は大学の学びに対するイメージをより具体的にすることができ、学習意欲の向上につながった1日となりました。訪問後は、各研究室の概要等をポスターに集約し、校内での発表を経て各研究室に提出しました。



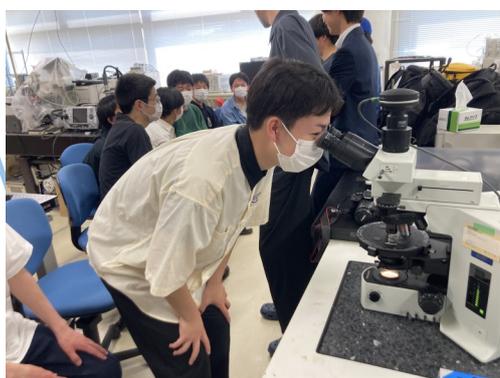
### 東北大学研修に行って

私の班は材料科学総合学科の高村研究室を訪ね、研究室で利用している主な設備や研究内容についてお話を伺いました。その後、班員の質問にお答えいただく中で、研究内容の補足や、現在直面している課題と解決に向けたアプローチ、研究のやりがいなどについて話していただき、研究室の方々の、研究に向ける熱意や、交流を通して互いを高め合いながら真剣に探究に打ち込む雰囲気を感じることができました。今回の東北大工学部研修は、進んだ研究や探究が行われている場に直接足を運び、お話を聞くことのできるとても貴重で、充実した機会だったと思います。

(1年理数科 千葉)



### 工学部研修を通して



今回の研修で私は環境科学工学科前田研究室にお邪魔しました。前田研究室では主に木材の加工方法であるCLTや鉄筋コンクリートであるRC構造の社会利用についてや新工法、新材料による構造システムについての研究を行なっています。研究室見学の際に工学部は発見、発明の場で想像力が必要だとおっしゃっていました。東北大学で研究をされている大学生の方々1人1人のやりたいことや目標を持って日々新たなものを発見、発明している姿に強い憧れを持ち、自分もこんな風に一生懸命になれるようなことを見つけないかと思いました。私は今回の研修を通して自分がどのような形で社会の役に立てるのかを考える想像力、自分がしたいと思ったことに没頭できる探究心が大切だということ学びました。

(1年理数科 長澤 克樹)

## 日本地球惑星科学連合大会 (JpGU) (2023.5.21)

5月21日に幕張メッセで実施された「日本地球惑星科学連合大会 (JpGU)」の学会発表に本校生徒8名が参加しました。自然科学部地学班が部活動で取り組んでいる研究と、理数科3年生による課外研究をポスターで発表し、専門家から多くの議論や意見をもらい、生徒は研究内容を広い視点で深めることができました。また、専門家のポスター発表やNASAとJAXAによる公開セミナーなどにも参加し、最先端の科学研究に対して、驚きと好奇心を感じながら学びを深めました。



#### これからの行事

8月7日(月)～9日(水)	つくば研修	希望者
8月7日(月)～9日(水)	白神フィールドワーク	希望者
11月9日(木)	イノベーションフェスタ	全校生徒

#### 宮城県仙台第三高等学校

仙台市宮城野区鶴ヶ谷1-19  
TEL 022(251)1246  
FAX 022(251)1247